

シリーズ：田中昌人初代所長の没後20年を  
研究所の更なる進展とするために

# (その1) 青年の発達保障と 高等教育の漸進的無償化

～遺著・田中昌人（2005）

『日本の高学費をどうするか』（新日本出版）が  
社会に提起し、継承しようとしたこと～

講師

## 渡部昭男さん

（人間発達研究所副所長・鳥取大学名誉教授）



日程

2024年10月14日（月・祝）10時～12時

※録画配信をします。録画視聴での参加も可能です

会場

コラボしが21（滋賀県大津市打出浜2-1）

参加費

一般 2,000円／会員 1,300円／25歳以下会員 500円 ※1998年4月2日  
以降生まれの会員

副読本

中村隆一・渡部昭男編（2016）

『人間発達研究の創出と展開』群青社  
特別販売 1,500円（税込）会場にて

郵送の場合は、+送料370円（9月末まで、10月1日から430円）

申し込み

研究所HPのリンクまたは、右のQRコードより

※前日まで受け付けます



【予告】

（その2）発達過程をとらえる基本概念としての

田中昌人による「可逆操作」の提起（仮）

講師：近藤龍彰さん（富山大学）・中村隆一さん（人間発達研究所所長）

日時：2024年12月14日（土）10時～12時

主催  
お問い合わせ

人間発達研究所



電話 077-524-9387

メールアドレス j-ih63su@j-ihd.com